

「どんぐり」(団栗)というのは ブナ科の果実(堅果)の総称で マテバシイ クヌギ シラカシ カシワ ミズナラなどさまざまです 面白いのは常緑樹も落葉樹も含まれることです 東京都内や近郊で一番よく見かけるどんぐりは このコナラ(小櫓)でしょう 同じように見える個々のどんぐりも 一つずつ個性があり 描いて面白いです 時々穴が開いているのは「コナラシギゾウムシ(小櫓鳴象虫)」の幼虫が食い破った穴です



これが完成した絵です



1、個数は偶数個よりも奇数個のほうが どういうわけか構図が安定します なぜかよくわかりません



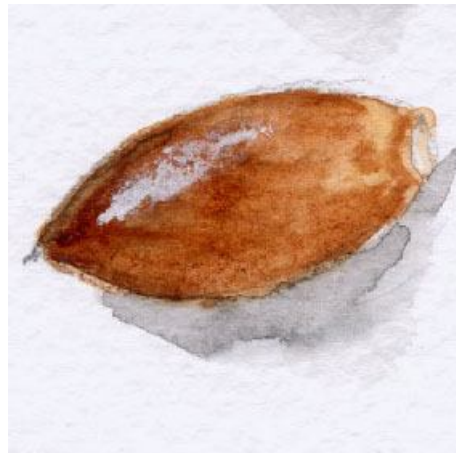
2、どんぐりを描く魅力は その表面の質感です よく磨いたツヤのある木肌のような質感です



3、一つひとつ微妙に色がちがいます セピアを基本に使用しましたが 赤っぽいものもあります



4、ゾウムシの幼虫が開けた穴 この穴にも少しだけ立体感を与えます



5、横に寝たどんぐりも ちょっと「すねている」ようで 可愛いと思いました



6、表面の「てかり」は 白のソフトパステルで描きました